

# オーダー確認処理に対する変更点 (CSC-41104)

一般提供予定: 2024年11月



## 機能概要

# 導入: オーダー確認処理の変更 (CSC-41104)

## 機能の説明

- 統合サプライヤは、バイヤーによって更新される保持ロジックや特定のビジネスプロセスフローに関係なく、簡単に確認を送信する必要があります。これは、基本的な確認プロセスとオーダー確認の差異の承認プロセスの両方に適用されます。
- サプライヤが以前に確認した明細を再確認する必要がなくなり、オーダー確認の処理エラーが削減され、サプライヤとバイヤーの両方の信頼性が向上します。

## 主な利点

- B2B サプライヤのオーダー確認の統合を簡素化し、一部またはを確認するための調達プロセスの複雑さを軽減します。

オーディエンス:  
サプライヤ

イネーブルメントモデル:  
自動的に有効化

対象ソリューション:  
SAP Business Network  
for Supply Chain

# 前提条件、制限事項、注意事項

## 前提条件

- none です。

## 制限

- none です。

## 注意

- none です。

# 機能の詳細 - 部分オーダー確認の更新を現状のまま処理

## シナリオ 1

1. 購買発注が 5 行で登録され、サプライヤに送信されます。
2. サプライヤが最初の 3 つの明細に対してオーダー確認番号 **OC001** を使用してオーダー確認を作成します。(指図確認作業タイプ = **新規**)。
3. サプライヤは、残りの 2 つの明細に対してオーダー確認番号 **OC002** でオーダー確認を作成します。(指図確認作業タイプ = **新規**)。
4. サプライヤは、最初の行を含めてオーダー確認番号 **OC001** でオーダー確認を作成し、配達日 (オーダー確認処理の種類 = **更新**) を編集します。

**Business Network ではすべての注文書明細が以前のバージョンに含まれていると想定されているため、オーダー確認は失敗します。**

購買発注	OC001 (操作タイプ = "新規")	OC002 (作業タイプ = "新規")	OC001 (操作タイプ = "更新")
ライン 1	ライン 1		行 1 (新しい配達予定日)
ライン 2	ライン 2		
行 3	行 3		
行 4		行 4	
行 5		行 5	

# 機能の詳細 - 部分オーダー確認の更新の処理 (予定)

## シナリオ 1

1. 購買発注が 5 行で登録され、サプライヤに送信されます。
2. サプライヤが最初の 3 つの明細に対してオーダー確認番号 **OC001** を使用してオーダー確認を作成します。(指図確認作業タイプ = **新規**)
3. サプライヤは、残りの 2 つの明細に対してオーダー確認番号 **OC002** でオーダー確認を作成します。(指図確認作業タイプ = **新規**)
4. サプライヤは、最初の行を含めてオーダー確認番号 **OC001** でオーダー確認を作成し、配達日 (オーダー確認処理の種類 = **更新**) を編集します。これは、この機能でサポートされます。

購買発注	OC001 (操作タイプ = "新規")	OC002 (作業タイプ = "新規")	OC001 (操作タイプ = "更新")
ライン 1	ライン 1		行 1 (新しい配達予定日)
ライン 2	ライン 2		
行 3	行 3		
行 4		行 4	
行 5		行 5	

# 機能の詳細 - 部分オーダー確認の更新を現状のまま処理

## シナリオ 2

1. 2 行の購買発注が登録され、サプライヤに送信されます。
2. サプライヤが、2 つの明細 (処理の種類 = **新規**) に対してオーダー確認 (**OC001**) を作成します。
3. バイヤーが変更オーダーを送信し、2 つの明細を更新します。
4. サプライヤがオーダー確認 **OC001** を最初の行のみを含めて更新しようとしませんが (処理の種類 = 更新)、**すべての明細が更新済みのオーダー確認に含まれる必要があるため却下されます。**

購買発注	OC001 (操作タイプ = "新規")	指図変更	OC001 (操作タイプ = "更新")
ライン 1	ライン 1	行 1 (新しい配達予定日)	ライン 1
ライン 2	ライン 2	行 2 (新しい配達予定日)	

# 機能の詳細 - 部分オーダー確認の更新の処理 (予定)

## シナリオ 2

1. 2 行の購買発注が登録され、サプライヤに送信されます。
2. サプライヤが、2 つの明細 (処理の種類 = **新規**) に対してオーダー確認 (OC001) を作成します。
3. バイヤーが変更オーダーを送信し、2 つの明細を更新します。
4. サプライヤは、最初の行のみを含む (処理の種類 = 更新) オーダー確認 OC001 を更新しようとしませんが、この機能では正しく処理されます。

購買発注	OC001 (操作タイプ = "新規")	指図変更	OC001 (操作タイプ = "更新")
ライン 1	ライン 1	行 1 (新しい配達予定日)	ライン 1
ライン 2	ライン 2	行 2 (新しい配達予定日)	

# 機能の詳細 – サポートされないシナリオ

## シナリオ 1

顧客がさまざまな確認ドキュメント (ソース) で以前に確認された明細を含むオーダー確認を送信しようとする、そのオーダー確認は却下されます。これらの追加ケースでは、2つの既存のチェックが再利用されます。

例:

1. 注文書が 2 行で作成され、サプライヤに送信されます。
2. サプライヤが明細 1 のオーダー確認 (OC001) を作成します。(指図確認作業タイプ = 新規)
3. サプライヤが明細 2 のオーダー確認 (OC002) を作成します。(指図確認作業タイプ = 新規)
4. サプライヤが明細 1 と行 2 (オーダー確認処理の種類 = 新規) を含めて、オーダー確認 (OC003) を作成します。

結果: オーダー確認 (OC003) には、異なるオーダー確認に含まれていた 2 つの明細を参照する明細が含まれているため、**却下**されます。

購買発注	OC001 (操作タイプ = "新規")	OC002 (作業タイプ = "新規")	OC003 (作業タイプ = "新規")
ライン 1	ライン 1		行 1 (新しい配達予定日)
ライン 2		ライン 2	行 2 (新しい配達予定日)

# 機能の詳細 – サポートされないシナリオ

## シナリオ 2

顧客がさまざまな確認ドキュメント (ソース) で以前に確認された明細を含むオーダー確認を送信しようとする、そのオーダー確認は却下されます。これらの追加ケースでは、2つの既存のチェックが再利用されます。

例:

1. 注文書が 2 行で作成され、サプライヤに送信されます。
2. サプライヤが明細 1 のオーダー確認 (OC001) を作成します。(指図確認作業タイプ = 新規)
3. サプライヤが明細 2 のオーダー確認 (OC002) を作成します。(指図確認作業タイプ = 新規)
4. サプライヤが明細 1 と行 2 (オーダー確認処理の種類 = 更新) を含めて、オーダー確認 (OC003) を作成します。

結果: オーダー確認 (OC003) には、異なるオーダー確認に含まれていた 2 つの明細を参照する明細が含まれているため、**却下**されます。

購買発注	OC001 (操作タイプ = "新規")	OC002 (作業タイプ = "新規")	OC003 (作業タイプ = "新規")
ライン 1	ライン 1		行 1 (新しい配達予定日)
ライン 2		ライン 2	行 2 (新しい配達予定日)

ありがとうございました。

フォローをお願いします。



[www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も SAP SE または SAP 関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式、目的を問わず、複写、または送信することを禁じます。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE がライセンスする、またはその頒布業者が頒布するソフトウェア製品には、他のソフトウェア会社が所有権を有するソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は SAP SE または SAP 関連会社が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP またはその関連会社は文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP または SAP 関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE またはその関連会社は、本書または関連文書に概説された事業の実現、またはそこに記載されたいかなる機能の開発またはリリースに対する義務も負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載された情報は、いかなる品目、コード、または機能の提供の確約、保証、または法的義務を表すものではありません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細の情報や通知に関しては、[www.sap.com/trademark](http://www.sap.com/trademark) をご覧ください。